

「罪深い女」

1. はじめに

- ・ルカの福音書は弱い立場の女性の記事が他の福音書に比べて非常に多い。
- ・あるパリサイ人が、いっしょに食事をしたいとイエスを招いた。そのような時に、どのようなユダヤ社会の風習があるのか。それを背景としたイエス、罪深い女、パリサイ人の記事である。

2. 本文

- ・36～39節
 - ・36節：あるパリサイが、いっしょに食事をしたい、とイエスを招いた。
 - ・どんな家か、中庭、招かれた人のメッセージ、周りの人はそれを聞くことが出来る、そのあとで食事をします。その時女が来た。
 - ・38節：泣きながら、イエスの後ろで御足のそばに立ち、
 - ・「罪深い女」はイエスの「神の国」の福音をどこかで聞いていた。イエスがここに来ると聞いて、最大限のもてなしを行った。
 - ・どんな格好をして食事をしていたか。
- ・40～43節
 - ・40節：「シモン。あなたに言いたいことがあります」
 - ・客を招いたときの礼儀をこのパリサイ人はしていなかった。
- ・44～47節
 - ・47節：だから、わたしは「この女の多くの罪は赦されている」と言います。
 - ・この女は①足を洗う②キスをしてくれた③油をぬってくれた。
 - ・マタイ16：18「つなぐ、解く」
 - ・パリサイ人、律法学者の権威をイエスは弟子に与える。
- ・48～50節
 - ・48節「あなたの罪は赦されています」
 - ・赦すと愛との関係。そして信仰とは何か。重要なのはイエスキリスト。

3. まとめ

- ・赦しと愛と信仰の関係。
 - ・多くを赦された者は多くを愛する。
 - ・赦しとイエスの十字架の死の意味。
 - ・ペテロの言葉一主はあわれみ深い。